

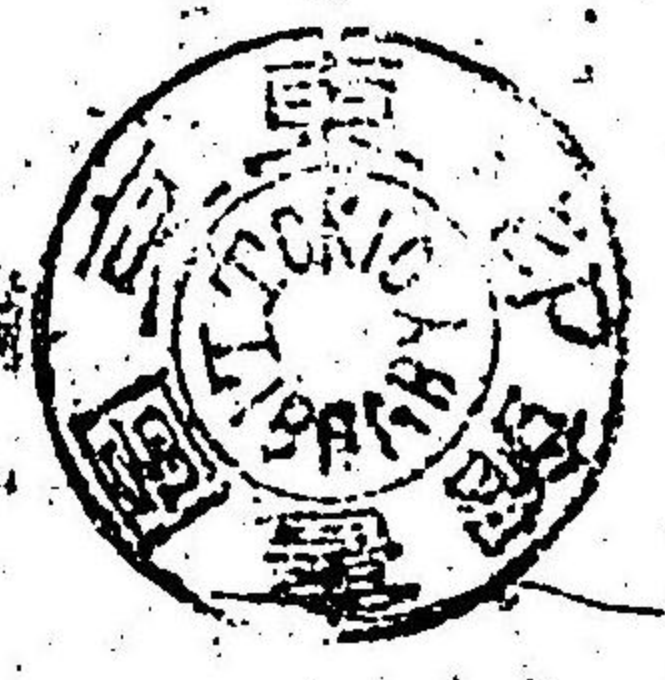
花
月
娘
三
草

特 43
997

上



明治二十年五月三十日内務省
4/58



皇太后
人皇万代
醍醐天皇の
御宇に
紀伊國
高野山
千手堂と早
徳大寺の
御宇に
醍醐天皇の
御宇に
醍醐天皇の
御宇に

高野山
千手堂
醍醐天皇
御宇に
醍醐天皇
御宇に
醍醐天皇
御宇に
醍醐天皇
御宇に
醍醐天皇
御宇に



一人の子のあれうと
 まゆ清共の糸花
 白手は花のあま
 と日の方移り申小大
 怨の納まをありけり
 程さかき懐妊のあま
 旅月の喜び
 大万の喜び
 一人の子のあれうと
 まゆ清共の糸花
 白手は花のあま
 と日の方移り申小大
 怨の納まをありけり
 程さかき懐妊のあま
 旅月の喜び
 大万の喜び

早産



一人の子のあれうと
 まゆ清共の糸花
 白手は花のあま
 と日の方移り申小大
 怨の納まをありけり
 程さかき懐妊のあま
 旅月の喜び
 大万の喜び
 一人の子のあれうと
 まゆ清共の糸花
 白手は花のあま
 と日の方移り申小大
 怨の納まをありけり
 程さかき懐妊のあま
 旅月の喜び
 大万の喜び

旅女

妻

一人の子のあれうと
 まゆ清共の糸花
 白手は花のあま
 と日の方移り申小大
 怨の納まをありけり
 程さかき懐妊のあま
 旅月の喜び
 大万の喜び



室の扉を開く

と聲

おはようございます

乳を飲む 赤い子 赤い子 赤い子 赤い子



音の響き

の響き

の響き

の響き

の響き

の響き

の響き

の響き

の響き

の響き

の響き

の響き

ハニシの

ハニシの 響き



母は風あまふ人の
 せむしあふ
 とへまふ
 年の
 水寺の住持と頼
 三遊のあまふと

一物安
 旭う才
 あらの
 まをかん
 一まふ
 礼とめ
 女児湯屋
 不めあふまふ
 と遊みあふ
 三遊のあまふ
 三遊のあまふ



月見
 呼びてはあまふ
 三遊のあまふ
 三遊のあまふ
 三遊のあまふ

三遊のあまふ
 三遊のあまふ
 三遊のあまふ
 三遊のあまふ
 三遊のあまふ



同三年... 其子... 尻... 其妻...

其子... 尻... 其妻...



竹の... 女... 去... 其...

其... 去... 其...



御届明治三年二月廿日編輯書出板日本橋区力々并下基之次久次郎

